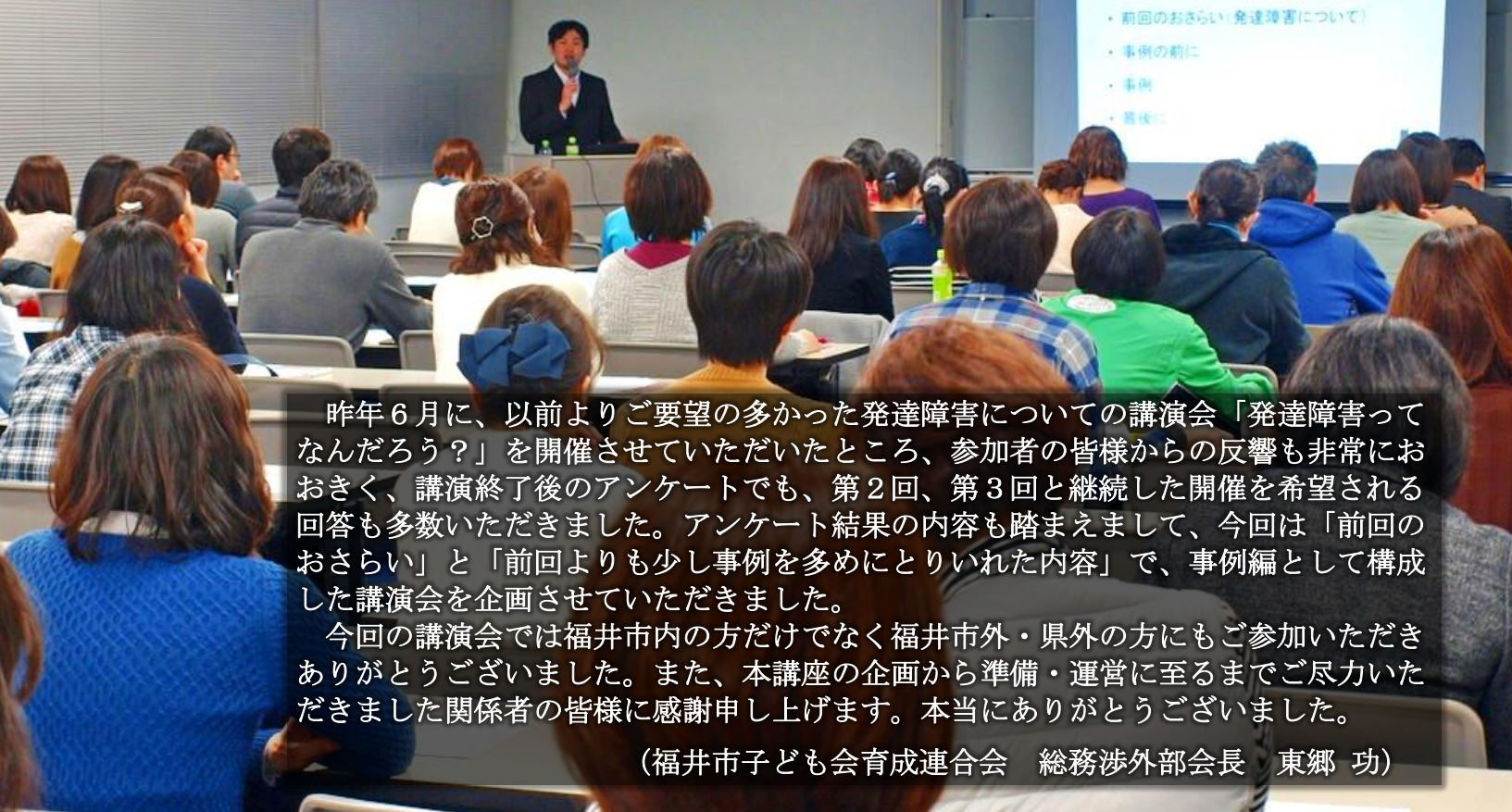


「発達障害ってなんだろう？」～特性にあわせた対応法～ Part. 2 一事例編

日時：平成31年2月9日(土) 場所：アオッサ 研修室 601ABC 参加者：75名



昨年6月に、以前よりご要望の多かった発達障害についての講演会「発達障害ってなんだろう？」を開催させていただいたところ、参加者の皆様からの反響も非常におおきく、講演終了後のアンケートでも、第2回、第3回と継続した開催を希望される回答も多数いただきました。アンケート結果の内容も踏まえまして、今回は「前回のおさらい」と「前回よりも少し事例を多めにとり入れた内容」で、事例編として構成した講演会を企画させていただきました。

今回の講演会では福井市内の方だけでなく福井市外・県外の方にもご参加いただきありがとうございました。また、本講座の企画から準備・運営に至るまでご尽力いただきました関係者の皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

(福井市子ども会育成連合会 総務渉外部会長 東郷 功)

一講演会のチラシ配布にご協力いただきありがとうございました一

各地区の子ども会育成会の皆様にご協力いただき、以下の小中学校・各種団体等へ講演会のチラシを配布させていただくことができました。ご協力ありがとうございました。また、チラシの配布をお引き受けいただきました各小中学校ならびに各種関係団体の皆様にも感謝申し上げます。

〈小中学校の全児童生徒への全校配布〉

本郷小(本郷育成会) 鶉小(本郷育成会) 川西中(本郷育成会) 鷹巣小(鷹巣育成会) 鷹巣中(鷹巣育成会)  
棗小(棗育成会) 棗中(棗育成会) 越廼小(越廼公民館) 越廼中(越廼公民館) 社北小(社北育成会)  
和田小(和田育成会) 成和中(和田育成会) 順化小(順化育成会) 円山小(円山育成会) 東藤島小(東藤島育成会)  
岡保小(岡保育成会) 中藤小(中藤島育成会) 明新小(明新育成会) 義務教育学校前期課程(附属小)(明新育成会)  
木田小(木田育成会) 明倫中(木田育成会) 清明小(清明育成会) 酒生小(酒生育成会) 六条小(六条育成会)  
文殊小(文殊育成会) 足羽第一中(文殊育成会)

〈その他の配布先〉 県子連 J C事務局 自治会 児童館 障害者自立支援施設等

※運営スタッフ

坂田裕幸 会長(岡保) 井上満枝 副会長(順化) 潮木雅代 副会長(和田) 長谷川文恵 副会長(松本)  
東郷功 部会長(棗) 鷺山幸吾 室長(酒生) 堀内潤子 副部会長(清明) 櫻井孝美 理事(和田)  
中山句美子(中藤島)



## 参加者アンケートの内容(藤岡徹氏の講演についての感想)(一部抜粋)

アンケート回収数48枚(講演会の参加申込者75名)

◎発達障害ってなんだろう?は、資料③で大まかに抽象的に理解できたが、なぜ発達障害になるのか、なったのかが知りたい。なぜ発達障害が増えているのかが知りたい。これが分かればもっと理解が深まり、本人に対してどうすれば良いか考える事ができる気がする。(40代女性、保護者)

◎発達障害についての説明はわかりやすくてよかった。事例も具体的であった。穏やかな子の事例、手立ては良かったが、一番子どもにとっての困り感是他の子とのトラブルであり、それも激しいトラブルで解決しにくいことではないか。それについての事例を出していただくと大変役に立つと思う。このことは保護者も一番心配していることです。約束を守るために金銭を伴う物のごほうびは、すべきではないと考えます。それがないと守らなくなるし、ほうび目的になりかねないのではないのでしょうか。(女性)

◎忘れ物①②③のシートも印刷してほしかったです。他事例のも…。こういう研修はくり返し行なわれると良いと思います。(40代女性、子ども会、育成会)

◎お聞きすることで全てではないが対応方法や不安が少なくなり、とても良かった。同じ内容でも良いので続けて開催して下さい。今回参加できなかった方へもチャンスをお願いします。(50代男性、子ども会、育成会)

◎臨床の事例で、とても具体的でした。中高生の対応についても知りたいです。(40代女性、保護者)

◎事例がわかり易く、場面が浮かぶようだった。社会人になって発達障害(もしくはグレーでも)と診断され、職場の配慮で就業が続けられている例を知りたい(どんな配慮、どんな努力をしてきたのか等)。障害の受容がどのようにすすむのか。生活につながっていく支援を受けられたからなのか等。(50代女性、スポーツ関係団体)

◎昨年11月にADHD、LD、社会性コミュニケーション障害と診断されました(息子)。今日の講演は非常にわかりやすく、子供に関わるヒントになりました。中学生、高校生、社会人の事例や、将来、自立を見据えた関わりについての講演もぜひ拝聴したいです。(30代女性、保護者)

◎発達障害の特徴はみんなもっている。大人が無理なことを子どもに求めない、というのが目からウロコの言葉でした。(30代女性、保護者)

◎具体的な事例が多くて前回よりもさらに聞きやすかったです。同じ問題(忘れ物が多い)でもその子の状態によって対応が変わる。あたり前のことですが具体的な対応策なども教えていただけて良かったです。(視覚化は心がけるようにしていましたが「ごほうび」までは書いていませんでした。)発達障害、コーチングの研修は何度聞いても良いと思います。(40代女性、教育関係者)

◎多くの事例が自分の子供の行動と重なることがあって、発達障害の特性を再認識することができました。まず我が子の置かれている状況を理解してあげたいと思います。(40代男性、保護者)

◎小6の息子が6年生になった頃から不登校気味になり心身症となって色々調べていくと全ての原因が息子自身の発達障害なのでは?と思うようになりました。まだ検査やテストを受けていて診断を受けたわけではありませんが、親自身の考え方を变えようと思い、今回参加させていただきました。息子が困難に感じていた(感じてきた)ことを何故できないのかと責めてしまったり、今までの子育ての後悔も多くありますが、もうすぐ中学生となるタイミングで息子が生活しやすい環境に整えてあげられるよう前進しようと思います。とても勉強になりました。ありがとうございました。今後、メンタルトレーニングを希望しますが、また、ぜひ発達障害の研修会もお願いしたいです。(40代女性、保護者)

◎6月の研修の時もとてもわかりやすく、今日も参加しました。いろんな手立てや助ける方法があるんだなととても勉強になりました。「こうすればできる!」ということを常に考えていけば色々な方法が見つかるのだなと感じた。厳しくするのが方法ではない。具体的にどうしたらよいか現場で考えていきたいと思う。(30代女性、保護者)

◎我が子が発達障害の診断を受けており何か理解できることが増えないかと思い参加させて頂きました。講演を聞いていて思った事は私自身が発達障害をむずかしく考えていたのだという事です。困難な事を別の方法で支援すればいいのだと改めて実感しました。ありがとうございました。たくさんの方に理解頂ける社会になるよう願います。今後、経験談や気持ちなどを聞けたらいいなと思います。(30代女性、保護者)

◎多くの事例をあげてくださり、その対応についても具体的でこれからの実践にすぐつながる内容でした。本人の特性をよくつかみ望ましい行動ができるように支援内容を考えることの大切さがよくわかりました。「十人十色」を大切にするには学校の支援体制を整えることが大切と感じた。(60代女性、教育関係者)

◎前回同様とても分かりやすかった。周りの大人が気をつけることが大切だと再確認できた(約束を守る。大人もできないことを強くない。)。このように現場で支援している方の話が有効だと思う。(30代男性、保護者)

◎事例の一つ一つが思い当たる子の様子をどらえていて分かりやすかったです。また、お話を聞きたいです。今後、親同士の関係(スポ少内など)、特にちょっとしたクレームを言いたいけど全く話を聞いてくれない人にどうしたら良い関係ができるのか、といった話を聞きたいです。(40代女性、教育関係者、スポーツ関係団体、保護者)

◎多くの事例を簡潔に解り易く説明して下さいましたのでずらりと頭の中に入ってきた。私自身の子供も自閉スペクトラム、ADHDを合併しており現在内服中です。こういった場合にはどうすれば良いのかという対処法を学ぶことができました。明日から息子に対する接し方一つでも変えられたらなんと勇気ももらいました。今後、発達障害児を持った保護者のグループワークの機会等があると良いと思います。(40代女性、保護者(子供が発達障害児)、看護師)

◎素晴らしいお話でした。発達障害を前向きにとらえ、先生のような柔軟な発想で支援できる環境がとても重要と思います。理解し支援の工夫をする人が増えて欲しいと思います。藤岡先生には、ぜひ色々な場でご講演いただきたいです。(60代女性、保護者)

◎私が職場で教えているADHDの生徒の気持ちに寄り添ってあげればと参加しました。全く基礎知識なく参加しましたが丁寧に柔らかな説明のおかげでその子に少し近づけた気がしています。ありがとうございました。(20代女性、教育関係者)

◎とてもわかりやすく役立つ内容でした。これからカウンセリングを学び続けていこうと思っているので今後もこのような研修を聞ける機会があるとありがたいです。友田先生の話も、もっと聞きたかったです。ありがとうございました。厳しい人がいるところは避けられれば、という言葉は心強い気持ちになりました。(50代女性)

◎様々な事例を紹介していただけて勉強になりました。しかも「一人の子にうまくいった対応が他の子にもうまくいくとは限らない。その子の行動の要因を環境から捉えて支援を工夫することが重要。」という大事なことを教えていただき、とてもありがたかったです。叱らずにほめて子育てするためのコツとしてアンガーマネージメントの研修があるとおもしろいと思いました。(40代女性)